

第5回 糸魚川市立学校教育環境整備計画検討委員会

令和8年2月25日(水)18:30～

糸魚川市役所2階201・202会議室

1 開 会

2 会議録の確認

3 議事

(1) 1/30開催 糸魚川市教育懇談会の振り返り

(2) 2/2実施 三条市義務教育学校・小中一貫教育視察の振り返り

(3) 学校の形態・施設の形態について（資料1）

(4) 糸魚川市立学校教育環境整備方針に関するアンケート調査の実施（資料2）

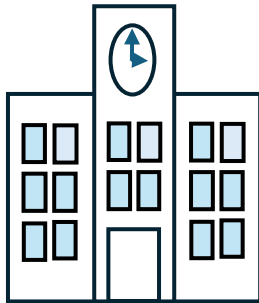
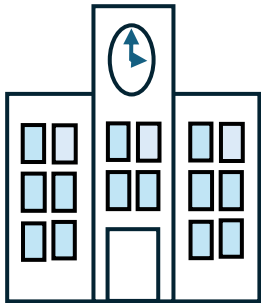
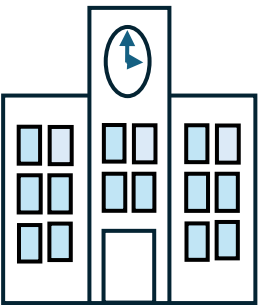
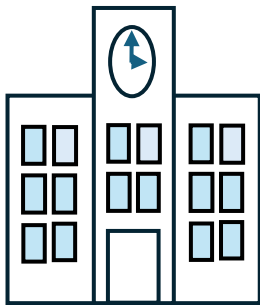
(5) 今後の予定について

4 その他

今後の会議開催予定

・第6回検討委員会 3月18日（水）18:30～ 市役所201・202会議室

5 閉 会

	小中一貫教育学校		令和 8 年度	義務教育学校
	分離型	一体型		一体型
能生中学校区	〇〇学園  A小  能生中	〇〇学園  A小 能生中	 磯部小  能生小  南能生小  中能生小  能生中	〇〇学園  1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年
糸魚川東中学校区	〇〇学園  B小  糸魚川東中	〇〇学園  B小 糸魚川東中	 大和川小  下早川小  糸魚川東中	〇〇学園  1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年

	小中一貫教育学校		令和8年度	義務教育学校
	分離型	一体型		一体型
糸魚川中学校区	〇〇学園 C小 D小 糸魚川中	〇〇学園 E小 糸魚川中	西海小 糸魚川小 糸魚川東小 大野小 糸魚川中	〇〇学園 1年2年3年4年5年6年7年8年9年
青海中学校区	〇〇学園 F小 青海中	〇〇学園 F小 青海中	田沢小 青海小 青海中	〇〇学園 1年2年3年4年5年6年7年8年9年

糸魚川市立学校教育環境整備方針に関するアンケート調査の実施について

1 調査目的

糸魚川市立学校教育環境整備計画策定に当たり、整備方針についての意見を聴取し、検討を進めるための資料とする。

2 調査概要

(1) 調査期間

- ・令和 8 年 2 月 18 日（水）から令和 8 年 3 月 8 日（日）まで

(2) 調査対象

- ・中学生以下の保護者
- ・市民

(3) 調査方法

- ・回答は無記名式、オンライン回答とする。
- ・公立保育園・幼稚園・小学校・中学校の保護者リーバーで送信
- ・リーバーで送信できない私立保育園・幼稚園、未就学児の保護者については、アンケート周知文等でアンケートフォームを案内する。
- ・その他の市民については、広報いといがわ 2 月号（2 月 25 日発行）に掲載のアンケートフォームからオンライン回答

市では、少子化が加速度的に進行する中であっても、未来を担う子どもたちにより質の高い教育環境を提供できるよう「糸魚川市立学校教育環境整備方針」を策定しました。

現在、糸魚川市立学校教育環境整備計画検討委員会を設置し、具体的な学校再編（複式学級の解消など）や学校づくりの基本的な考え方など、目指す学校の姿の検討を進めているところです。

これからの学校のあり方について、市民の皆さんの意見を伺いたいため、アンケート調査にご協力をお願いします。

回答期限は3月8日(日)です。

回答に係る時間は5分程度です。

糸魚川市立学校教育環境整備方針は、次のとおりです。

方針：中学校区単位を基本とした、小中一貫教育学校※1又は義務教育学校※2を設置します。

1 学校数

- ・中学校は、4校とします。
- ・小学校は、各中学校区内に1校又は2校とします。

2 施設の形態

・小学校と中学校が同じ校舎となる「一体型」又は小学校と中学校が別の校舎で教育活動を行う「分離型」とします。

3 学校づくりの重要な視点

- ・「ひとみかがやく日本一の子ども」の育成
- ・地域とともに歩む開かれた学校づくり
- ・安全安心で豊かな教育環境の提供

※1 一貫教育学校とは、小学校、中学校の区別はあるが、小中学校が同じ目標で9年間の義務教育を一貫して行う学校。

※2 義務教育学校とは、小学校と中学校の区別をなくし、9年間の義務教育を一貫して行う学校。

Q1. あなたの年齢について教えてください。 必須

- ☐ 19歳以下
- ☐ 20歳代
- ☐ 30歳代
- ☐ 40歳代
- ☐ 50歳代
- ☐ 60歳代
- ☐ 70歳代
- ☐ 80歳以上

Q2. お住まいの小学校区はどこですか。 必須

- ☐ 磯部小学校区
- ☐ 能生小学校区
- ☐ 南能生小学校区
- ☐ 中能生小学校区
- ☐ 下早川小学校区
- ☐ 大和川小学校区
- ☐ 西海小学校区
- ☐ 糸魚川東小学校区
- ☐ 糸魚川小学校区
- ☐ 大野小学校区
- ☐ 根知小学校区
- ☐ 田沢小学校区
- ☐ 青海小学校区

Q3. あなたの家族について教えてください。（あてはまるものすべてを選択） 必須

- ☐ 未就学児がいる
- ☐ 小学生がいる

- ☐ 中学生がいる
- ☐ 高校生がいる
- ☐ 当てはまるものはない

Q4. 学校数や施設の形態について、ご意見を聞かせてください。

0 / 60000

Q5. 小中学校と地域との関わりについて、ご意見を聞かせてください。

0 / 60000

Q6. 小中学校のあり方について、その他ご意見がありましたら聞かせてください。

0 / 60000

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する



本フォームのお問い合わせ先: 糸魚川市教育委員会事務局こども教育課 電話番号: 0255521511 メールアドレス:
kokyo@city.itoigawa.lg.jp 受付時間: 08:30 ~ 17:15

Powered by LoGoフォーム - © TRUSTBANK, Inc. 利用規約 プライバシーポリシー

第5回

Re: ITOIGAWA

糸魚川市の行政改革

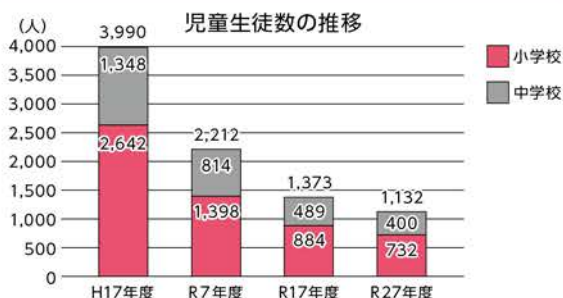
糸魚川市立学校
教育環境整備計画
(学校再編計画)

問合先 教育委員会 学校のあり方検討担当 ☎552-1511

少子化の現状

市の児童生徒数は、急速かつ継続的に減少しています。

- 20年前と比べ、市内全体で約44%減少
- 20年後には、約48%減少の見込み



※ 令和17年度及び令和27年度の人数は、人口推計値から算出

計画の策定

検討委員会での検討を踏まえ、今年6月を目的に「糸魚川市立学校教育環境整備計画」を策定予定です。計画には、新たな学校の配置や継続して活用する校舎のイメージなどを示すとともに、地域とともに歩む開かれた学校づくりの基本的な考え方を示します。

少子化が加速度的に進行する中であっても、未来を担う子どもたちに、より質の高い教育環境を提供できるよう、学校再編に関する市の方針を策定しました。これまでのように地域から統合の申し出があるまで待つのではなく、市として目指す教育環境の考えを地域へ示し、地域の皆さんとともに学校づくりを考えていきます。

現在、糸魚川市立学校教育環境整備計画検討委員会を設置し、目指す学校の姿の検討を進めています。

学校づくりの重要な視点

児童生徒数だけで言えば、10年後には小学校2校、中学校1校の規模になります。しかしながら、市では、学校と地域とのつながりを大切なものとして考え、現在の4中学校を維持することとしています。

また、これまで取り組んできた子ども一貫教育をさらに進めるため、これまでの小中学校の「連携」からステップアップし、「連続性」、「系統性」を持たせていく学校(小中一貫教育学校*1・義務教育学校*2)を設置します。

学校再編により校区が広がる中でも、中学校区のコミュニティを基本として地域と学校が連携・協働し、未来を担う子どもたちの成長を支えていく必要があります。そのために学校はどうあるべきか、地域の皆さんと一緒に考えていきます。

*1 一貫教育学校とは、小学校、中学校の区別はあるが、小中学校が同じ目標で9年間の義務教育を一貫して行う学校。

*2 義務教育学校とは、小学校と中学校の区別をなくし、9年間の義務教育を一貫して行う学校。



アンケート調査にご協力ください

糸魚川市立学校教育環境整備方針に関するアンケート調査を実施しています。これからの学校のあり方についてのご意見をお聞かせください。

回答期限：3月8日◎



アンケートフォーム



詳細は
市ホームページ